

日本語教育機関
自己点検・評価報告書

日本語教育機関名	北海道日本語学院札幌本校
点検評価実施日	令和5年3月30日

評価方法

A	達成されている、あるいはほぼ達成されている。
B	未達成な部分があるが達成に向けて取り組んでいる。
C	達成されていない、改善が必要。

点検・評価項目	評価
1.理念・教育目標	評価
1.1 学校の理念が明確になっている。	A
1.2 教育目的が明確になっている。	A
1.3 教育目標、育成する人材像が明確になっている。	A
1.4 理念、教育目標が社会の要請に合致している。	A
1.5 理念、教育目標が教職員に共有されている。	A
<p>教育理念 「日本語教育を通し異文化相互理解を深め世界平和と人類の福祉に貢献する」 日々の教育活動のなかで、理念に基づく指導を行っており、教職員にも周知徹底している。 新入生オリエンテーション資料に記載されており、教職員、学生ともに共有されている。</p> <p>教育目的 「日本語の正しい理解と豊かなコミュニケーション能力の養成を通し、国際的な視野をもった人材の育成を期す」 ⇒理念同様、教育活動は教育目的に沿ったものである。教職員採用時のオリエンテーション資料に記載し、全教職員に共有している。</p> <p>教育目標・育成する人材像 「日本語はもちろん日本文化や習慣を理解し国際的な視野をもち、日本と母国の発展と世界平和に寄与する人材の育成」 ⇒日本語はもちろん日本事情等で日本の習慣やマナー教育を行っている。多国籍の環境で日本語を学ぶことで異文化相互理解が進み、国際的な視野の育成に繋げている。</p>	
2.学校運営	評価
2.1 日本語教育機関の告示基準を満たしている。	A
2.2 教育理念や目標に沿った運営方針や事業計画が策定されている。	A
2.3 組織運営管理、人事管理、財務管理に関する規程が整備されている。	A
2.4 意思決定システムが整備されている。	A
2.5 コンプライアンス体制が整備されている。	A
現状及び取り組み	

<p>⇒告示基準に合致した運営を行い、法令順守を徹底している。</p> <p>校務は教務・事務共に校務分掌によって業務を分担し遅滞なく諸業務にあたっている。</p> <p>校長はそれらを統括する立場として管理、監督し学校運営にあたっている。</p> <p>年間予算に沿って組織は運営されている。</p>	
<p>3.教育活動</p>	<p>評価</p>
<p>3.1 教育理念に沿った教育課程が体系的に編成されている。</p>	<p>A</p>
<p>3.2 成績評価、進級、終了の判定基準が明確化され適切に運用されている。</p>	<p>A</p>
<p>3.3 教員の指導力向上のための取り組みが行われている。</p>	<p>A</p>
<p>3.4 教育課程の改善のための取り組みが行われている。</p>	<p>A</p>
<p>3.5 授業記録簿等を備え、実施他授業を正確に記録している。</p>	<p>A</p>
<p>3.6 理解度、到達度の測定と評価を適切に行い、その結果を的確に学生に伝えている。</p>	<p>A</p>
<p>現状及び取り組み</p> <p>⇒読む、書く、話す、聞くをバランスよく学べる教育課程となっている。成績評価の評価基準は入学時のオリエンテーションで新入生の時点で理解できるようにしている。</p> <p>常勤、非常勤講師が集まり、教務勉強会を行い、指導力向上に努めている。また、授業見学と検証を行い、新人教師の育成に努めている。</p> <p>クラスの理解度に合わせて期末ごとに指導の見直しを図り、改善に努めている。長期休暇中には、面談を行い、試験結果と評価について学生に伝え、弱点克服への指導を行っている。</p>	
<p>4.学習成果</p>	<p>評価</p>
<p>4.1 生徒の日本語能力の向上が図られている。</p>	<p>A</p>
<p>4.2 進路の指導、把握が適切に行われている。</p>	<p>A</p>
<p>4.3 各種試験の指導体制が整っており、把握が適切に行われている。</p>	<p>A</p>
<p>現状及び取り組み</p> <p>⇒ 卒業時にJLPT上級合格を目指す学生にはN4からチャレンジするよう促し、年々受験、合格割合が高くなり、2022年12月のN4合格77%、N3合格81%となった。</p> <p>自由に受験レベルを学べる無料のJLPT対策は、より上のレベルを学ぶ学生も多く学習意欲向上に繋がっている。</p> <p>校内で大学、専門学校を招いて説明会を実施し、直接進学先の先生から話を聞ける場を設けた。</p>	
<p>5.生徒支援</p>	<p>評価</p>
<p>5.1 学習相談、生活相談に対する支援体制が整備されている。</p>	<p>A</p>
<p>5.2 健康管理、事故管理等の体制が整備されている。</p>	<p>A</p>
<p>5.3 犯罪防止に係る教育を行っている。</p>	<p>A</p>
<p>5.4 防災、緊急時における体制が整備されている。</p>	<p>A</p>

<p>現状及び取り組み</p> <p>⇒授業前後の声掛けほか、長期休暇中に個人面談を実施し、学習相談や生活相談に対応</p> <p>12月まで感染症の拡大防止のため、毎朝検温を実施した。また、手指の消毒ができるよう各教室に消毒液を設置している。このほか体調不良者には登校を控えるよう指導した。</p> <p>入学時から犯罪防止に係る講習を多言語対応にて実施している。</p> <p>防災訓練を実施し、避難経路を検証、確認し緊急時に備えている。</p>	
<p>6.教育環境</p>	<p>評価</p>
<p>6.1 学校の施設、設備が十分かつ安全に整備されている。</p>	<p>A</p>
<p>6.2 教育目標に沿った教材が選定されている。</p>	<p>A</p>
<p>6.3 学習効果を図るための環境整備がなされている。</p>	<p>A</p>
<p>現状及び取り組み</p> <p>校内は、学生がだれでも使用できるWIFIが整備されている。また、自習スペースでは、パソコンやタブレットが使えるよう充電用のコンセントが配備されている。教材は、主教材の他に、テレビ番組やニュースから生教材を適宜使用し日本文化や習慣、今の日本に触れながら日本語能力の向上を図っている。学習効果を図るため、中間・期末テストを実施し定期的に習熟度を測っている。</p> <p>地元の大学生を招き、フリートークを実施。学んだ日本語を試せる場を設けた。</p>	
<p>7.入学者の募集</p>	<p>評価</p>
<p>7.1 入学者の募集が適切に行われている。</p>	<p>A</p>
<p>7.2 入学者募集の際に学校の情報が正確に伝えられている。</p>	<p>A</p>
<p>7.3 授業料等の料金が適切である。</p>	<p>A</p>
<p>現状及び取り組み</p> <p>現地の日本語教育機関とメールを中心に密に連絡をとっているほか、ZOOM等を利用して定期的にオンライン面談を行い、募集要項や学校のルール、事前に理解しておいてほしい日本の法令等の説明を行って入学後のギャップがないよう努めている。学生募集は、オンラインで面接を行い、留学目的や日本語レベルの確認を行っている。授業料は、入学後に追加の徴収がないよう教科書、文化体験やアクティビティを含めた料金を徴収している。</p>	
<p>8.財務</p>	<p>評価</p>
<p>8.1 中長期的に財務基盤が安定している。</p>	<p>A</p>
<p>8.2 予算、収支計画が有効かつ妥当なものとなっている。</p>	<p>A</p>
<p>8.3 財務について会計監査が適切に行われている。</p>	<p>A</p>
<p>8.4 財務情報の公開の体制が整っている。</p>	<p>-</p>
<p>現状及び取り組み</p>	

⇒親会社の財務基盤が安定していることにより、次年度の運営に影響は及ぼさない。	
9.法令順守	評価
9.1 各種法令の遵守と、適切な運営が行われている。	A
9.2 個人情報の保護の取り組みを行っている。	A
9.3 自己点検、評価の実施、改善を行っている。	A
9.4 自己点検評価の公開を行っている。	A
9.5 関係省庁への届出、報告を適切に行っている。	A
<p>現状及び取り組み</p> <p>⇒学校運営は、設置基準に沿って行っている。</p> <p>新入生オリエンテーションで留学生が守らなければならない法令について多言語で説明しているほか、警察講話で動画等を利用しより深い理解と遵守を促している。</p> <p>個人情報の取り扱いについては、非常時の公的機関の求め以外での流出のないよう厳重に管理、保護している。年度末に事務、教務責任者で自己点検、評価を実施するほか学生アンケートを実施し、学校運営への点検、評価、改善を行い、それを公開している。</p>	
10.地域貢献・社会貢献	評価
10.1 学校の資源、施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っている。	A
10.2 生徒にボランティア活動の奨励、支援を行っている。	A
<p>現状及び取り組み</p> <p>夏の遠足では、地元の高校生と交流会を実施し、同世代の若者と国際交流をおこなった。</p> <p>冬季は有志を募り、学校前の除雪ボランティアを毎朝行った。</p> <p>日本語教師を目指す大学生の教育実習を行い、日本語教師の育成に寄与した。</p> <p>フリートークでは、教室を開放し地元の若者に国際交流の場を提供している。</p>	